

第 6 学年 国語科学習指導案

6 年 2 組 28 名
指導者 平 島 裕 志

1 単元名 発信しよう「平和への考え」 - ぼく・わたしの平和宣言 -

2 単元設定の理由

学習者は、6年生として朝会や集会など人前に出て話をする機会がふえ、学習活動でも調べたことをまとめて友達に発表する経験を重ねてきた。この様子を見ていると、人前で話したり発表したりすることは、恥ずかしいけれど、それ以上に嬉しそうでやる気満々になっていることが分かる。しかしまだ、考えを整理できていないため、言いたいことが十分伝えられなかったり、分かりやすくまとめることが難しかったりすることも多い。

このような学習者の実態から、まず自分の考えをしっかりとらせることが必要であると考えた。本単元の教材『平和のとりでを築く』は、「平和」について、筆者の考えに触発されて自分なりの考えをもち、さらにその考えを発信するという内容になっている。「平和」というテーマは、学習者にとって漠然としており、ともすれば人ごとになってしまいがちだが、歴史を学ぶこの時期に真剣に考えさせたい大切な話題である。文学教材をはじめ様々な資料を用意することで、そこから読み取った主題や情報をもとに「平和」についての自分の考えをしっかりとめさせたい。

自分の考えを適切に伝えられるようにするためには、はっきりとした目的意識・相手意識をもたせることが必要である。そこで、単元のゴールとして、自分たちの考えを「平和宣言」としてまとめ、地域に発信することにした。しかし、初めから地域の人に聞いてもらえる「平和宣言」をまとめることは難しい。そこで、「平和宣言」の前に、友達どうし調べたことや考えたことをポスターセッションで伝え合い、深め合う場を設けることにした。

本時（第2次 2/2）は、教材文から読みとった事柄をもとに、筆者の考えに対する自分の考えをまとめる時間である。自分の考えをまとめる際には、「原爆被害について」「折り鶴の少女について」「世界遺産について」と大きく三つに話題を絞り、その話題に沿って、事実と感想、意見を書いていくようにした。各自でまとめたものを発表し合うのであるが、視点の異なる感想や意見を聞くことで、「平和」に対する見方や考え方がより広がると考える。そして、ここでの活動をもとにもう一度、自分の考えを整理したり、友達の考えから分かったことを自分のものにしたりして、次時に行く「平和」についての調べ学習へと発展させていきたい。

3 単元の目標

（1）学習者の活動目標

- 平和についての自分の考えを発信しよう。

（2）指導目標

- 話題に関心をもち、自分の考えを表現するために意欲的に取り組むことができるようにする。
- 自分の考えをまとめ、内容を整理して話したり、自分の立場から内容を再構成しながら聞いたりすることができるようにする。
- 自分の考えが明確になるように、事象と感想、意見などを区別して書くことができるようにする。
- 目的や意図に応じて資料を選び、話題に沿った自分の考えをもつことができるようにする。

4 本単元における評価について

能力	評価規準	子どもがことばの力を身につけた姿の一例	評価の資料
関心・意欲・態度	話題に関心をもち、自分の考えを表現するために意欲的に取り組もうとしている。	・「十分に満足できる」状況 話題に関連したいろいろな資料を意欲的に集め効果的な表現方法を工夫して、自分の考えを伝えようとしている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 具体的な資料を提示したり、手引きを示したりして活動意欲をもつことができるようにする。	・発言 ・活動の様子 ・学習の記録
話す・聞く能力	自分の考えをまとめ、内容を整理して話したり、自分の立場から内容を再構成しながら聞いたりしている。	・「十分に満足できる」状況 資料をもとに自分の考えをまとめ、聞きながら考え、考えながら話している。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 人前で話すことが苦手な学習者には、発表原稿をもとに個別に話し方を練習することで、考えを伝えることができるようにする。話題の中心を示して、話の筋を理解できるようにする。	・発言 ・活動の様子 ・学習の記録
書く能力	自分の考えが明確になるように、事象と感想、意見などを区別して書いている。	・「十分に満足できる」状況 根拠となる資料を取捨選択し、事実をふまえて、自分の考えをまとめて書いている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 考えをまとめるために、文章の組み立ての柱や書き出しを示して、文章を組み立てることができるようにする。	・活動の様子 ・発表資料 ・意見文
読む能力	目的や意図に応じて資料を選び、話題に沿った自分の考えをもっている。	・「十分に満足できる」状況 書き手のものの見方、考え方、感じ方などについて意見をもって読んでいる。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 絵や図、読みやすい話など分かりやすい資料を、友達や教師と一緒に読んで考えをもつことができるようにする。	・活動の様子 ・発表資料 ・意見文

5 学習計画（全 15 時間）

学習活動と指導（ ）	学習者の意識の流れ	身に付けさせたい力
（事前）社会科学学習や読書の時間の中で、平和への関心を高める。 （1時間） 詩の音読、掲示物、学年文庫などの環境を整えて興味・関心をもつことができるようにする。 1 『平和のとりでを築く』を読んで、筆者の伝えたいことを考える。 （2時間） 事例と筆者の考えを述べている部分をぱらぱら読みとることができるようにする。 2 『平和のとりでを築く』で読みとった筆者の考えについて、自分なりの考えをまとめる。 （2時間 本時2/2） 自分が一番心に感じたことについて、経験や知っていることと考え合わせることで、自分の問題として考えるようにする。 3 関心をもった話題や資料から、「平和」について調べ、自分の考えをまとめる。 （8時間） 多様な資料を用意しておき、自分にあった話題を選ぶことができるようにする。 同じ話題や内容で班を作り、情報交換しながら作業できるようにする。 具体的に作業する順や調べる項目を書いた手引きを用意して、まとめていくことができるようにする。 発表の仕方を具体的に示し、自信をもって発表できるようにする。 4 まとめた自分の考えを発信し、学習のまとめをする。 （2時間） 友達の発表を聞いて自分の考えに取り入れることができるようにする。	戦争の本を読んだよ。 戦争の話をおし、いちゃんから聞いたよ。 社会科で第二次世界大戦を勉強したよ。 ぼくたちも平和について考えよう。 戦争や「平和」に関するものを読んで調べよう。 『平和のとりでを築く』を読もう。 ・原爆ドームを保存するか取り壊すのか議論があった。 ・少女の日記がもとになって、原爆ドームの永久保存がきまった。 ・世界遺産として認められた。 ・原爆ドームは、心の中に平和のとりでを築くための世界の遺産だ。 『はだしのゲン』で読んだよ。 ・原爆で、たくさんの人が一瞬に死んでしまった。 ・平和の大切さを考えないといけないな。 ・ユネスコ憲章の意味を考えよう。 「平和」ってどんなことだろう。 ぼくたちも「平和宣言」文を書こう。 過去の戦争 長崎、広島など 生活と平和 いじめなど 現代の問題 テロ、地雷など 戦争の怖さを調べて伝えたいな。 身近でも命に関わる怖いことがあるよ。 今も戦争をしている国や地域があるよ。 戦争について知っている人に話を聞こう。 戦争や「平和」の物語、写真集を探そう。 インターネットで資料を集めよう。 心に残った事例や引用したいことばや文章をメモしておこう。 わかったことを知らせたいな。その方法は・・・ （ポスターセッションだ。） 原爆で今も苦しんでいる人がたくさんいる。昔のことじゃないんだ。 いじめで平和な生活を送れていない子がいる。周りでもこんなことはないかな。 内戦が続いていて、学校に行けない子がいるんだ。ぼくに何ができるかな。 「平和」についてまとめた自分の考えを伝え合おう。 ポスターセッションをしよう。 どんなことがあってもしっかりと生きることを学んだ。 人と人のつながりって、大事なんだな。 平和を築くには、優しさや愛の心が大切だ。 ぼくらの「平和宣言」文として、自分たちの考えをまとめてみよう。 「平和宣言」文を冊子にして、人権のつどいで配って、地域の人に読んでもらおう。	〔読〕語句に使い方や、文末表現を手がかりに筆者の主張や表現の工夫をとらえる。 （発言・ワークシート） 〔読〕筆書の感想・意見を生かして、自分の考えを深める。 （発言・学習ノート） 〔関〕自分の課題を選び、興味を持って取り組む。 〔読〕目的や意図に応じて必要な資料を探したり、選んだりする。 （活動の様子） 〔書〕自分の考えが明確になるように、事象と感想、意見などを区別して書く。 （発表原稿） 〔書〕全体を見通し、効果を考えて構想メモを練る。（メモ） 〔話〕自分の考えをまとめ効果的に話す。 〔話〕メモを活用しながら効果的に話す。 （発表の様子） 〔聞〕聞きながら自分の考えや意見をもつ。 （学習の記録） 〔書〕書くことによって自他の成長を自覚する。（文集）

6 本時の学習

(1) 本時の目標

学習者の活動目標

「平和のとりで」について、自分の考えをまとめよう。

指導目標

読みとった事柄をもとに、事例と考えを区別して「平和」について自分の考えをまとめることができるようにする。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点	身に付けさせたい力	評価の資料
1 前時の活動を振り返り、本時の学習のめあてをつかむ。	○ 学習内容を明らかにし、活動への意欲を高める。		
2 構想メモをもとに自分の考えを書く。 ・ 原爆被害について ・ 折り鶴の少女について ・ 世界遺産について	○ 書くための手引きを用意し、自分なりの考えをまとめられるようにする。 ○ 各自が選択した話題について、自分の考えを述べさせる。	○ 自分の考えが明確になるように、事象と感想、意見などを区別して書く。	・ 構想メモ ・ 意見文
3 友達どうし発表を聞き合い、筆者の考えに対する自分の考えをまとめる。	○ 他のテーマを選択した友達の考えを聞くことで、「平和」に対する考えを広げる。		・ 発言内容
4 学習を振り返り次時への意欲を高める。			・ 学習の記録

(3) 本時の評価

「十分満足できる」状況	教材文と他の資料から効果的なものを取捨選択し、自分の考えを明確にまとめている。
「おおむね満足できる」状況にするための指導	文章の組み立てを示した手引きを手がかりにして、自分の考えをまとめることができるようにする。